

国語研の日本語教育研究が目指すもの

国立国語研究所 日本語教育研究領域

領域代表・教授 石黒 圭
特任助教 岩崎 拓也

日本語教育研究領域の特徴「日本語学習者の日本語の研究」

日本語の構造と体系を日本語学習者がどのようにして学んでいるかを調査・分析

日本語教育の現場に役立つ研究を目指しています！

学習者の母語、日本語のレベル、学習の目的、置かれた環境など学習者の個性はさまざま

日本語学習者の多様性を踏まえた研究資源を整備しています！



①「日本語学習者の日本語使用の解明」

「BTSJ日本語自然会話コーパス」宇佐美まゆみ

『基本的な文字化の原則（BTSJ）』という談話の記述に向く文字化ルールで記述されたデータと音声を含む、収集の目的や会話の条件が統制された1000人規模の日本語自然会話コーパス！

「多言語母語の日本語学習者横断コーパス（I-JAS）」野山広／迫田久美子

12の異なる言語（中・韓・英・仏・独・露・洪・尼・西・土・越・泰）を母語とする海外の日本語学習者850名と日本国内の学習者150名に調査した世界最大規模の日本語学習者コーパス！



②「日本語学習者の日本語理解の解明」

「日本語非母語話者の読解／聴解コーパス」野田尚史

日本語学習者が日本語の文章をどのように読み誤るのか、また、わからないときにどのような推測をしているのかを知るために、文章を読みながら理解していく過程を母語や母語に準じる言語で学習者に話してもらい、文字化して日本語訳をつけた仮説探索的データベース！

「日本語学習者の文章理解過程データベース」石黒圭

日本語学習者が日本語の文章を理解する過程において理解困難な語彙や文脈に出会ったとき、どのような方法でその困難を乗り越えていくのか、「語彙の理解」「文脈の理解」「全体の理解」「アイ・トラッキング」の4種類のデータから明らかにした仮説検証型データベース！



③「日本語学習のためのリソース開発」

「基本動詞ハンドブック」 プラシャント・パルデシ

日本語の多義的な基本動詞の教育・学習の課題を解決するために、基本動詞の中心的な意味、および多義的な意味の広がりをも、視覚的に分かりやすく解説したオンライン版辞書！

ウェブ版読解・聴解教材「日本語を読みたい！」&「日本語を聞きたい！」野田尚史

「日本語非母語話者の読解／聴解コーパス」の研究成果を反映させるべく、現在鋭意開発中の、ウェブで利用できる日本語の読解と聴解の教材！